群馬県防草ブロック工業会

新会長に富沢氏選出

前橋市内で設立総会挙行

富沢会長

堀発起人

群馬県防草ブロック工業会の設立総会が9日、前橋マーキュリーホテルで開催された。

防草ブロックは、植物の根が重力を感じ地中の下へ成長する性質と茎や芽が光に向かって上方へと成長する性質を踏まえ、ブロックを切り欠け形状にすることで雑草の成長を停止させ、結果として地表への草の繁茂を防止する製品。防草テープやシールの施工、除草作業といった従来の対策工事と比べ、経済性や環境面からも優れており、環境賞や国土技術開発賞のほか、昨年度の『ぐんまの環境新技術・新製品』にも選ばれている。

県内には、セミマウンドアップの歩道構造でIMタイプの縁石が多いことから、同工業会ではその規格に合わせて外側に切り欠けを入れた防草機能付加型の歩車道境界ブロックなどを考案。年間1万本の出荷体制を構築したところ。

各種議案を審議した

総会の冒頭、発起人であるトキワコンクリート工業代表取締役社長の堀弘司氏が「工業会の設立を契機に交通事故の減少、道路美化を目指し、防草ブロックを県内へ広めていきたい」と意気込んだ。

その後、議事へと移り、2015年度の予算案や事業計画案、役員選任案などが審議。このうち、役員選任では太陽コンクリート工業代表取締役社長の富沢茂隆氏が会長に選出された。富沢会長は「防草ブロックが安全面、環境面で地域に役立つことを念頭に置き、これから積極的な活動を展開していく」と抱負を口にした。

石川氏

総会後、防草研究会の石川重規氏を講師に招き、防草ブロックの概要や特長に関する講演会が実施された。休憩を挟み、懇親会も催され、防草ブロックの普及促進に向け、会員同士が情報を交換した。

県解体工事業協同組合

空き家対策に力点

第15回通常総会を開く

菊地理事長

群馬県解体工事業協同組合（菊地明仁理事長）の第15回通常総会と親睦会が8日、伊勢崎プリオパレスで開かれた。

議事に先立ち、あいさつに立った菊地理事長は「労務費の高騰や技術者不足など、問題は山積みだが、関係各所と連携を図りながら、まずは空き家対策に力を入れていきたい」と抱負を口にした。

その後、議事へと移行。2014年度の事業報告や本年度の事業計画案、役員選任案などが審議され、いずれの議案も全会一致で承認された。

井野衆院議員

石関衆院議員

総会後に行われた親睦会では、来賓に石関貴史衆議院議員、井野俊郎衆議院議員らが駆けつけた。来賓挨拶で石関衆議院議員は「建設業の一業種となり、今まで以上に安全に作業をすることが重要。技術を向上させ、レベルの高い担い手を育成していくことをお願いしたい」と求め、井野衆議院議員も「若い人に夢と希望を持って貰えるような業界にしていただきたい」と呼びかけた。来賓紹介が行われたのち、群馬県中小企業団体中央会の蓼沼潤課長補佐の発声で乾杯。出席者は互いに情報を交換しながら親睦を深めた。

総会のもよう

防災会館林分会

石井氏（河本工業）が最優秀

安全事例発表へ200人参加

原分会長

建設業労働災害防止協会群馬県支部館林分会（原初次分会長）は9日、館林芸術ホールで『現場における安全衛生管理事例発表会』を開催した。事例発表会は群馬県建設業協会館林支部との共催で行われ、受発注者双方から約200人が参加。10現場の担当者による発表が行われ、最優秀賞には河本工業の石井克英氏、優秀賞には原工業の今泉幸夫氏、徳川組の川田貴正氏、新和建設の穂積靖氏がそれぞれ選ばれた。

高倉署長

開会後、原分会長が「当地区では春に安全衛生管理事例発表会を、秋には建設業協会館林支部による施工事例発表会を行っている。安全や施工に対し日ごろ苦労していることに耳を傾け、良いことはまねていただければ」と呼びかけた。

10事例が発表された

来賓として駆けつけた厚生労働省太田労働基準監督署の高倉潔署長は「他社の事例を参考にし、皆さま一人ひとりが自分の工事を見直すことが労働災害の防止につながる」と期待を寄せた。県館林土木事務所の村田知宏所長は「ヒューマンエラーや墜落・転倒、重機の挟まれ事故などがなかなか減らない状況。各現場で起こる事故を一つでも減らすことができるよう、各社の知恵を学び現場へフィードバックしていただきたい」と述べ、県館林農村整備センターの吉田誠センター長も「この発表会は受注者だけでなく、われわれ発注者にも非常に参考になる。今後とも一層の情報共有に努め、事故の防止にまい進していきたい」と続けた。

吉田センター長

村田所長

発表では昨年度、国や県、市町村から発注された工事の担当者10人が、それぞれの現場で取り組んだ安全管理を説明。最優秀賞の石井氏は、国土交通省高崎河川国道事務所発注の新三国トンネル改良工事における交通規制対策を解説した。各発表には参加者から多数の質問が寄せられ、安全に対する関心の高さがうかがえた。

その後、太田労働基準監督署の木村正義安全衛生課長が講評を行ったほか、県契約検査課の辰野和義補佐が昨年度の安全点検の結果を紹介しながら、注意点を喚起した。

角田建設工業

施工見学会を開催

新工法「1DAY PAVE」

木内理事長

角田営業本部長

角田建設工業（角田恵子代表取締役、片品村）は5日、群馬県北部生コンクリート協同組合（木内利夫理事長、沼田市）とともに、早期交通開放型コンクリート舗装の「1DAY PAVE」施工見学会を、沼田市利根町園原の国道120号椎坂利根トンネル起点部で開催した。

会の冒頭、角田建設工業の角田政弘取締役営業本部長が「群馬県北部生コンクリート協同組合と県沼田土木事務所の理解や協力があって施工ができた。続けて、群馬県北部生コンクリート協同組合の木内理事長も『1DAY PAVE』は、開放が1日で可能な画期的技術。実際に触れてもらい、さまざまな場所で活用してほしい」と呼びかけた。

町田所長

当日は県沼田土木事務所の職員をはじめ、県内企業や工事関係者など多数が参加した。工事概要や早期交通開放型コンクリートの説明が行われた後に実施された受け入れ試験では、参加者らが通常の生コンクリートと早期交通開放型コンクリートの感触の違いを比べたり、施工現場での作業のようすを間近で見学した。

「1DAY PAVE」は、施工後の養生に14日程度かかるところを1日で交通開放できるのが最大の特徴。セメントや水、砂といった従来の材料を使うなど工法は変わらないが、配合を変えることで工期を大幅に短縮できる。

工事概要を聞く参加者

昨年度末から県外の公共事業への採用が増えてきている新工法で、県内の公共事業では初となり、民間での事例もないという。2013年には国土交通省の新技術情報提供システム「NETIS」に登録された。

県沼田土木事務所の町田孝所長は見学を終え「若手技術者の育成の場としても良い機会になり、自分自身も見入ってしまった。工夫をしていかないと建設業も変わっていかないと思う。実際の現場を見て、群馬県北部生コンクリート協同組合と角田建設工業らの熱意を感じた」と感心していた。

6月24日 十河氏招きセミナー開催

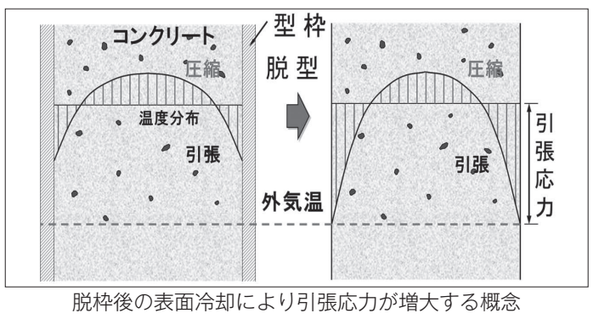
コンクリート施工の要点 ～特別寄稿（下）～

②散水養生は、その温度に注意が必要！

型枠を存置している間は、封緘養生とみなすことができる。したがって、型枠はできるだけ長く存置する方がよい。しかし、型枠を長く存置することは、施工の工期上許されない場合が多い。コンクリートの湿潤養生は表面の組織をち密化するため耐久性の向上に効果があり、耐久性を特長とするコンクリートにとっては重要な行為の一つである。

コンクリートに水分を供給する期間は、湿潤養生期間として土木学会コンクリート示方書などにその標準が示され、型枠を存置する期間と養生期間は明確に区別する必要がある。図1は、型枠内部のコンクリート温度が放熱するより蓄積する量が多い初期の段階で、部材内部に温度勾配が生じる概念を示したものである。部材が厚いと、脱枠時にも内部温度が残るため、内部が圧縮応力、表面に引張応力が生じることを示している。内部の温度勾配が生じている段階で脱枠を行うと、表面が外気で冷やされ引張応力が生じて、表面にひび割れが生じる危険性があることを示している。寒中コンクリートの施工時には、内部の温度が高い段階で脱枠して表面に冷気を与えると表面ひび割れが生じる危険性があるとされ、注意が喚起されている。

比較的温暖な季節においては、コンクリート温度がそれなりに高く、コンクリートの強度発現も期待できることから、型枠を早期に外しても損傷を受けることは少ないため、早期に脱枠が可能となる。しかし、前述したように、脱枠はできても、養生期間はコンクリート表面の耐久性を確保することが必要であり、湿潤養生は継続することが望まれる。そこで、脱枠後に散水養生を継続することをよしとする技術者が散見されるが、散水の温度が外気温より低い場合は、表面温度を低下させることにより温度応力を増大させて表面ひび割れを助長する場合がある。養生のつもりが、ひび割れを生じさせる事例であり、注意が必要である。



脱枠後の表面冷却により引張応力が増大する概念

CPDS 6ユニット 認定

コンクリート施工の要点
～評価される施工技術～

日時　2015年6月24日（水）
受付9:00～　開始9:30～16:00（6ユニット）

会場　前橋問屋センター（前橋市問屋町2−2）秋の間・冬の間2F

プログラム

第1部（午前の部）9:30～12:00
・コンクリート施工の基本
・不具合の発生抑制策

第2部（午後の部）13:00～16:00
・ひび割れの発生抑制策
・施工で評価されるコンクリート技術

講師

十河　茂幸 氏（そごう しげゆき）
広島工業大学 工学部
都市デザイン工学科 教授
工学博士 技術士

1974年3月　九州工業大学大学院　工学研究科修了
1974年4月　大林組入社（技術研究所配属）
1997年4月　技術研究所　土木材料研究室　室長
2002年4月　技術研究所　副所長
2011年4月　広島工業大学　教授

参加料：購読者 10,000円（税込）　非購読者 15,000円（税込）　昼食、テキスト代含む
申込締切：2015年6月17日（水）

主催：群馬建設新聞　日本工業経済新聞社 前橋支局　後援：一般社団法人 群馬県建設業協会

お申し込みは下記にご記入のうえ、この用紙をそのままFAXして下さい

FAX 0120−053−136（フリーダイヤル）　日本工業経済新聞社 前橋支局 TEL027-210-8200 担当：大井

お申し込み				
貴社名			参加者氏名	
ご住所				
電話番号		FAX番号		
担当者名				
参加料	円 × 名 ＝ 円			

※お申し込みと同時にお振込み下さい。当日のキャンセルは返金できませんのでご了承下さい。

■ お振込先　三井住友銀行前橋支店　普通 3291766　東和銀行本店　普通 0757682
群馬銀行本店　普通 0539806　■ 口座名義　日本工業経済新聞社　前橋支局

関東甲信越版

「2015年度 建設事業計画書」

数量限定　好評販売中！

弊社は2015年度も皆さまのご要望にお応えして『官公庁建設事業計画書』を作成いたします。群馬県をはじめとする関東甲信越地区内の都県別に、県、市町村、公社、組合、企業団などの2015年度公共事業関連予算の詳細と事業箇所、概要などを取りまとめたものです。建設関連企業の営業・情報戦略に欠かせない資料として評価を得ています。

予約限定発行のため、部数に限りがございます。お早めにお申し込みくださいますよう、ご案内申し上げます。

◁前橋市の予算詳細サンプル◁

事業名	予算（千円）
【総務費】	
◆契約管理	
◇契約管理事業	15,468
◇電子入札運営事業	9,179
◇入札運営事業	450
◆建設監理	
◇建設監理事業	19,674
◇建設技術推進事業	627
◆財産管理	
◇財産管理事業	216,741
◇市庁舎管理事業	316,566
◆総合企画	
◇市政の総合企画事業	20,316
◇都市都市地域研究事業	974
◇前橋駅周辺活性化事業	1,406
◇上武道路「道の駅」設置事業	3,200
◆情報化	
◇情報システム管理事業	542,041
◆大胡支所	
◇支所運営事業	16,572
◇地域対策事業	1,006
◆宮城支所	
◇支所運営事業	8,339
◇地域対策事業	1,006

事業名	予算（千円）
◆粕川支所	
◇支所運営事業	9,989
◇地域対策事業	1,000
◆富士見支所	
◇支所運営事業	46,081
◇地域対策事業	1,000
◆総合交通	
◇交通政策推進事業	9,687
◇JR東南有地設等維持管理事業	19,895
◇上毛電鉄駅関連施設整備事業	100
◇路線バス対策整備事業	7,560
◆環境対策	
◇生態系保全事業	4,162
◇新エネ・省エネ機器導入補助	46,650
◇新エネルギー等導入促進事業	16,643
◆環境保全	
◇大気汚染悪臭防止調査事業	17,605
◇騒音振動防止調査事業	3,937
◇水質汚濁防止調査事業	16,676
◆地域活動	
◇町内集会所建設補助事業	45,000
◇自治会一括交付金	402,856
◆防犯	
◇防犯カメラ整備推進事業	4,433

株式会社 日本工業経済新聞社 前橋支局
群馬県前橋市問屋町1-1-1NF2ビル10F
TEL.027-210-8200 FAX.027-210-8500

2015年度事業計画書申込書

（必要な版の下の○印をお願い致します）

発刊都県	群馬県版		東京都23区		神奈川県版		埼玉県版	茨城県版	長野県版	栃木県版	千葉県版	山梨県版	新潟県版
○印	書籍	CD付	書籍	CD付	書籍	CD付			CD（県、市のみ）				
金額	¥25,000	¥30,000	¥20,000	¥25,000	¥26,000（税込）	¥28,000（税込）	¥20,000	¥25,000	¥10,000	¥15,000	¥20,000	¥30,000	¥20,000

※消費税は別途申し受けます（神奈川を除く）。

合計　冊　円　2015年　月　日

フリガナ			
貴社名			
所在地			
電話		FAX	
フリガナ		所属部課	
ご担当者名			

申込みFAX番号【フリーダイヤル】
0120−05−3136